

レストラン業務の効率化に「ステータスボード」サービスを提供開始

ほくでん情報テクノロジー株式会社（本社：北海道札幌市中央区、代表取締役社長：魚住元）は、「ステータスボード」サービスを本日より提供開始いたします。

地方の経済や雇用の担い手となる観光産業においては、兼ねてから構造的課題として人材不足が挙げられておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大前の観光客数を取り戻しつつある昨今、この問題は一層顕在化しております。

こうした状況を受け、弊社ではレストラン業務の効率改善を目的としたソリューション開発を企画し、道内最大手である鶴雅グループのリゾートホテル「北天の丘 あばしり湖 鶴雅リゾート」に実証実験ならびに評価作業にご協力をいただき、現在、業務利用いただいております。

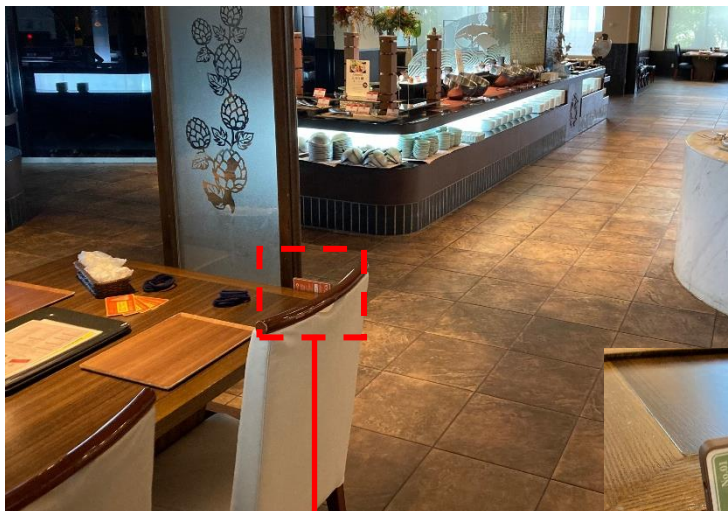
最前線の現場ご担当各位より貴重なご意見を伺いながら機能改善を繰り返し信頼性と利便性を高め、「ステータスボード」サービスとしてリリースいたしました。

これまでレストランのビュッフェ等ではテーブルの利用状況を確認するため、スタッフが食事札の状態（表・裏）を目視確認しておりましたが、「ステータスボード」はIoTセンサーを内蔵した食事札を使うことで、食事札の状態（表・裏）を専用のゲートウェイ機器を通じてクラウド上にあるアプリケーションに連携し、リアルタイムにパソコンやタブレット等でテーブルの利用状況を確認することが可能となります。

これにより、無線機等を使ってスタッフ間で連絡し合わなくとも後片付けが必要なテーブル・案内可能なテーブルを画面上で把握でき、お客様の利便性向上や業務の効率化を実現します。

このほか、実証実験から得られた現場ニーズに基づく機能も実装されており、お客様の食事時間や、これから来店するお客様人数の把握等にも活用可能です。

<「北天の丘 あばしり湖 鶴雅リゾート」での実証実験の様子>



“オホーツクバイキング COTA”の
各テーブルにセンサー内蔵の
食事札を設置

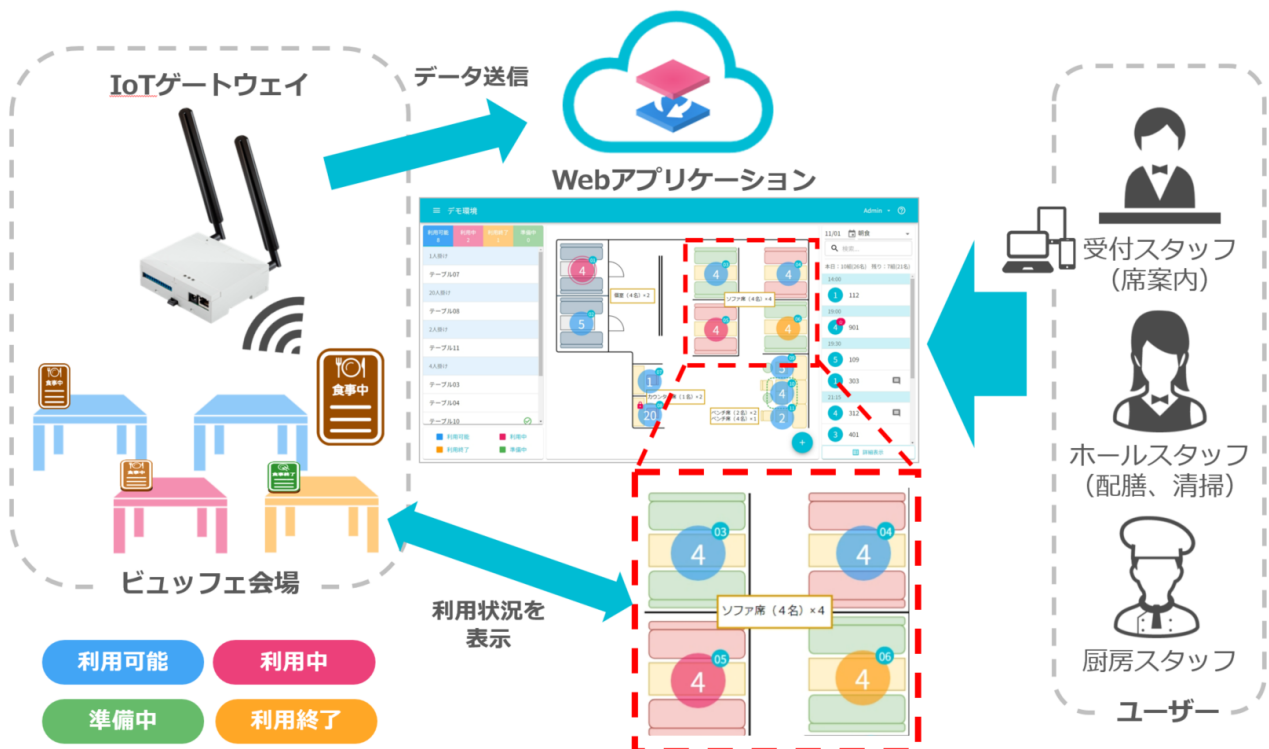
<「北天の丘 あばしり湖 鶴雅リゾート」での状況表示例>



“オホーツクバイキング COTA”のテーブル利用状況表示例

- ・ [受付]にステータスボード画面の表示端末を設置、受付から死角になりやすい図面下部に位置する部屋になっているスペースのテーブルの利用状況も受付にて把握。
- ・ 画面上に  で示された食事中テーブルのうち、利用開始後1時間を経過したテーブルを強調表示する等、目視では把握できない情報もデジタル化によって把握可能に。

<「ステータスボード」サービスの概要図>



本サービスは、お客様の声を受け今後も機能改善・改良を行っていく予定です。
無償でトライアル利用もいただけますので、ご関心がございましたらお問い合わせください。

以上

本件に関するお問い合わせは、以下にお願いします。

ほくでん情報テクノロジー株式会社

デジタルソリューション部

TEL : 011-330-7612

E-mail : staff-sales@hokuden-it.co.jp